月26日第三種郵便物認可）

長野市民新聞

第732号
3月15日(木)
長野市民新聞社
編集制作センター
〒380-0943
長野市安茂里1029-1
フリーダイヤル　0120-06-5511
TEL 223-5511・FAX 223-5500
e-mail shiminm@avis.ne.jp

南長野支社
〒381-2224
長野市川中島町原534-2
TEL 299-5988・FAX 299-5977
◎長野市民新聞社　2001
火・木・土 発行
月 700円

そば打ちの技PR

日本国際パフォーマンス・アート・フェス

末広町の柏木さん　米国人画家と〝共演〟

黙々と、そばと線画を仕上げる２人

末広町のそば店「柏屋」を営む柏木久仁昭さん（41）は、12日夜に権堂町の「ネオン・ホール」で開いた日本国際パフォーマンス・アート・フェスティバル（NIPAF＝ニパフ）で、そば打ちを実演してアメリカ人画家の表現活動に協力し、海外からの出演者を含む70人に伝統技術をアピールした。

しにせのそば店を継いで10年余の柏木さんは、同フェスに、さまざまな職人や音楽奏者らの仕事風景を題材に線画をかいているアメリカ人画家のモーガン・オハラさんが出演することになり、霜田さんを通じ「長野名物のそば打ち職人と共演したい」と打診を受けた。

柏木さんはパフォーマンス・アートと縁はないが「何らかの表現を通じ、長野のそば文化を広く発信する好機になる」と快諾した。

出演8組の最後となったオハラさんの表現活動は相手との〝交感〟がテーマ。そば粉をこね、棒で伸ばす柏木さんの作業に合わせ、両手に数本ずつ鉛筆を握り、無心の表情で、大きな紙に無数の線を書き入れた。約20分後、そばと抽象的な線画がそれぞれ仕上がり、喝さいを浴びた。

日ごろ店頭で打っている柏木さんも、さすがに緊張したといい、安どの笑顔を見せた。一方で、オハラさんの独特の表現手法には「2人の動作が一体になる不思議な気分だった」と圧倒されていた。

霜田誠二さん＝中御所2＝と友人。8回目を迎える同フェス